

活動テーマ

農業と地域資源を生かしたグリーンツーリズムの試み

神川町（渡瀬、下阿久原、上阿久原、矢納）本庄市（全域）地区 十文字学園女子大学

1 活動目的

神川、本庄における地域資源について知り、自ら体験しながらグリーンツーリズムミニツアーのプランを作成する

2 活動地域の現状

【神川町（渡瀬、下阿久原、上阿久原、矢納）】

神川町南部（旧神泉村）は秩父山系からなる山間部であり、人口は1000人強、高齢者世帯が70%を超える地区もあり、「過疎地域」の指定を受けている。一方、国の天然記念物に指定されている「三波石峡」、県立上武自然公園や「城峯公園」「金鑽神社」などの観光資源が豊富であり、有機農業が盛んで、「ヤマキ醸造」のような企業もある。しかしながら、これらの観光地のうち1箇所のみ立ち寄り寄り傾向があるなど町全体としての観光地の連携が十分に図られていない。

【本庄市】

児玉地域は、南西部は山間地、中央部は丘陵地帯、北部は平坦な地形で、山林と田園地帯が広がる緑豊かな自然環境に恵まれている。高齢化率は約26%で県平均を上回っている。高窓の里、さざえ堂などの観光資源、多くのウォーキングコースなどが点在しており、本庄地区もふくめ、歴史的建造物や伝統的な祭りがある。また「本庄なす」に代表されるような豊富な農作物がある。

3 活動内容

活動日	内容	場所
4月24日	活動打ち合わせ	神川町 ヤマキ醸造
7月12日 20日	活動に関する事前勉強会（十文字学園女子大学、 園田学園女子大学）	十文字女子大 園田女子大
8月18日 ～20日	グリーンツーリズムミニツアーの試行 地域資源見学と食材の活用、 ツアー企画作成ワークショップ	本庄市 神川町
9月22日	神泉小学校運動会（神川）	神泉小学校
10月27日 ～28日	学園祭（味噌田楽販売）	十文字女子大

11月15日	神川有機農業・有機食品勉強会(授業とリンク) (講師)ヤマキシニアアドバイザー 角掛康弘氏	十文字女子大
12月1日	本庄市 市民ポケットミーティングにおけるふるさと 支援隊活動紹介	旧本庄商業銀行煉瓦倉庫
12月1日 ~2日	野火止用水 西分茶屋 (味噌利用レシピ販売)	新座市 野火止
1月28日	次年度活動に関する打ち合わせ	本庄市農業 観光センター
3月10日	こんにゃくづくり講習会	本庄市農業観 光センター

4 成果

6年間の神川町での活動をふまえて、本庄市に対象地域を拡大し、初年度の活動を行った。中心となったグリーンツーリズムツアー試行については、園田学園女子大学の学生も加わり、地方大学と首都圏大学の連携による充実した活動を実現し、グリーンツーリズムのプランとキャッチコピーについてのワークも一定の成果を得た。

本庄市児玉地域では、「NPO法人ネットワークひがしこだいら」の皆様にも、また旧神泉村では石井さんをはじめとする村の皆様にご指導いただき、8月の3日間は大変中身の濃い活動を展開することができた。料理交流会では神泉小学校の子どもたちや保護者も加わり、朝収穫したルバーブのジャムや地元の野菜のおいしさを堪能し、「地域を知る」という目的は達成できたように思う。

5 課題

1年目ということもあり、畑での活動や、地域の行事への参加はほとんどできなかった。伝統行事が多くある地域でもあり、来年度はそのような機会を作っていきたい。また、グリーンツーリズムツアーの試行を活動の中心としたことから、これまで継続的に実施してきた子どもを対象とした自然体験活動ができなかったのは残念であった。

6 次年度以降の計画

- ①ミニツアーの開催 「ルバーブ収穫体験・ジャム作り・ティーパーティー」、地域視察
- ②そば打ち体験、こんにゃく作りなど、地域の方たちから学ぶ機会を設ける
- ③小学校支援活動 (子ども自然体験・運動会支援、ミニツアーへの一部参加など)
- ④大豆畑での農作業、ルバーブ栽培など畑での活動
- ⑤地域の伝統行事 (本庄「岩谷堂まつり」など)
- ⑥味噌づくりなど

体験を観光ツアーに活かし、一般の方を対象とした観光ツアーの実施を目標とする。



有機農業・有機食品勉強会



神泉小学校運動会



神川でのルバーブ畑での収穫



ルバーブジャムづくり・料理交流会



岩谷堂での講義



ヤマキ醸造



下久保ダム



旧神泉中学校でのグループワーク